

# 羅針盤



2019年5月24日(金) 第86号

「創造は、過去と現在とを材料にしながら新しい未来を発明する能力です。」

( 与謝野 晶子 ( 歌人、(1878～1942) ) )

## 「いま、福島で学ぶ意義 ～君が学ぶと世界が変わる～」

～ 前川直哉先生の講演会 (5/16(木)「総合：外部講師講演会」) ～

「総合的な学習の時間」を活用し、5月16日に前川直哉先生の講演会を行いました。東日本大震災後に支援活動に来られ、その後、当時勤務されていた灘高校の生徒とともに「東北訪問合宿」などに取り組み、その後福島に転居し、現在は福島大学教育推進機構 高等教育企画室 特任准教授をされています。こうした活動の背景には、高校3年生の時に起きた阪神淡路大震災の経験があったことも講演会では触れられました。さらに講演のなかでは、「なぜ学ぶのか」や「いま福島で学ぶ意義」についてユーモアも交えながら、ものの見方が大きく変わるようなお話をいただき、これからの生き方や学びに関して刺激を受けることができました。生徒の感想の一部を紹介します。

### ・6組 柳沼 結衣

今日の講演で今私たちが学ぶことの大切さを知りました。今まで何のために勉強しているのかわからず、ただ何もせずに時を過ごすことが多くありました。高校3年生になり、受験生になったにもかかわらず、目標に向かって努力しようとしませんでした。しかし今回の話で、「誰かを幸せにするために自分は勉強する」という考えが私の心の中に残りました。私は人を支えるような仕事に就きたいと思っているので、私にはぴったりの言葉だと思いました。「誰かを幸せにするには、自分がいま力をつけなければいけない」という言葉を聞いて、自分も将来人を支える仕事をするには、いま勉強して自分の力を高め、その力を発揮できるようにすることが大事になってくるのだと思いました。

### ・1組 川原 也佳

小学生の頃から今までずっと、何のために勉強しているのかわからなかった。周囲の大人が言う「将来のため」という言葉も、夢や希望があまりない私には信じるのができなかった。しかし、今回の話を聞いて、知らない誰かを助けるために、知らない誰かに「必要」とされるために勉強すればいいということがわかった。まだ知らない誰かを支えるような存在になるためにも、とりあえず今は大学入試まで心を入れ替えて勉強に励みたいと思った。何か困ったことや想定外のことが起きたときに、「こういう時のために勉強してきた」と、かっこよくキメる大人になりたい。

### ・6組 高田 翔

「なぜ学ぶのか」という問いは、今までずっと考えてきたことでした。周りの人に聞いても「進学するため」というものしか返ってきませんでした。しかし、今日の講演で「学ぶというのは、支えられるだけの存在から誰かを支える存在になるためのもの」ということに気づくことができました。「勉強は自分の将来のためだよ」と言われてもピンとこなかったし、モチベーションも上がらなかったけれど、お世話になった人たちに恩返しするために勉強して「力」をつけると考えると、やる気が出てきました。今後A Iに仕事が奪われる可能性が大きいと言われている。だからこそ「力」をつけなくてはならない。

• 1組 佐藤 成美

今回の講演で、福島には“カッコいい”大人たちがたくさんいることに気づきました。福島県は、東日本大震災や原発事故からの復興がまだ道半ばで、それに加えて少子高齢化など課題がたくさんあります。だから私は今まで福島のことを前向きに考えられませんでした。でも、前川先生のように県外から来ている方々が福島の今の状況を前向きに捉え、活動していることに驚きました。講演を聴いて、今の福島だからこそ、いい所や学べることがあるんだなと気づきました。県内にいる私は、それに気づきませんでした。また、県内にいる私たちが、福島のことをネガティブに思っはいけないとも思いました。これからは、福島をもっと前向きに捉え、今福島にいる“カッコいい”大人たちのように、私もいつか誰かを支えられるようになりたいと思います。

• 3組 菅野 友歩

最近、やる気や意欲が減っていた。いわゆる「時間泥棒」に負けてしまっている。ゲームや漫画ではないが、スマホに“使われてしまっている”私がいる。今日の講演で気づいた。私は私だけのための存在と思っていたが、とんだ間違いである。未来に会う誰か、また今会っているけれど今とは違う形で関わる誰かのことを考えれば良かったのだ。そして、私たちは今、“福島で”学んでいる。気づけば、そこらじゅうに課題が転がっていて、黎明の先生方は、これを考え、動かそうとしていたのかとはじめてわかりました。

• 2組 春木 結衣

今日の講演を聞いて、自分の人生について深く考えさせられました。一番印象に残っていたのは、やはり成長するということは支えられる存在から支える存在になるということ、という言葉です。日常で言うと、母が食事を作ってくれることも、父が塾の送り迎えをしてくれることも、支えられている証拠なのだと思います。そしてそれを、私は嬉しくも情けなくも感じました。私は、この多くの支援に見合うことが何一つできていないと思ったからです。社会は変わり続けています。私たちが対応しきれぬ速さで変わり続けているでしょう。だからこそ昔よりも互いに支え合っていかなければならないし、その力のない私はまず力をつけるために努力をしていかなければならないのだと思います。

• 4組 坂本 萌

「今後、日本は良くなるか？」という質問に、私は「良くなる」と答えたのだが、最初に思いついた理由が“誰かしら変えようとする人(政治家など)がいるから”だ。自分がそこに参加することや、自分から行動することを考えるべきなのだろうが、自分は根本から“人任せ”人間なのだろう。しかし、それではいけない！と心に刻まれたのが、自分の得意なことを生かして他の人の役に立つ、という思想だ。

| 5~6月 | 曜日 | 行事等                        | 週末課題等の予定 | 朝学習 | センターまで |
|------|----|----------------------------|----------|-----|--------|
| 24日  | 金  | 進研マーク模試 (45分)              |          | 国語  | 239    |
| 25日  | 土  | 進研マーク模試                    |          |     | 238    |
| 26日  | 日  |                            |          |     | 237    |
| 27日  | 月  | (45分)                      | 英語提出     | 数学  | 236    |
| 28日  | 火  | (45分)                      | 数学提出     | 国語  | 235    |
| 29日  | 水  | 生徒会立会演説会・選挙 (40×5)         |          | 英語  | 234    |
| 30日  | 木  | ※月曜授業実施日 (45分)             | 数学提出     | 数学  | 233    |
| 31日  | 金  | 英検(2級校内受験) (50分×4)         |          | 国語  | 232    |
| 6月1日 | 土  |                            |          |     | 231    |
| 2日   | 日  |                            |          |     | 230    |
| 3日   | 月  | 衣替え、登校指導(~5)<br>前期中間考査一週間前 | 英語提出     | 数学  | 229    |

☆全国インターハイ出場を目指し、県大会出場競技の壮行会が20日(月)に行われました。一方、中間考査も近づいてきます。こちらは自分の進路希望実現につながる勝負とも言えます。どちらも全力で準備をし、いい結果を残すことができるようにしたいものです。